

「見ないのに信じる幸い」

ヨハネによる福音書 20章24～29節

聖学院幼稚園・小学校チャプレン 中村 謙一

4月7日の日曜日には、世界中の教会で、神の御子イエス・キリスト、私たちの愛するイエス様の復活を覚えて祝うイースター礼拝が守られました。聖学院小学校では、今日、4月22日の金曜日に、小学校のイースター礼拝をお献げしています。イースター、おめでとうございます！ A Happy Easter! 壇上にはイースター・エッグという主の復活の卵が飾ってあります。かわいいヒヨコが生まれる卵は、主イエスの復活の新しい命を意味しています。

全ての人の悪いお心、「罪」を赦し、天国へ導くため、イエス様は十字架の上で神の御子の大切な命をお献げ下さって祈ってくださいました。そして、イエス様は、私たちの代わりに代表で、罪人として苦しみ死んでくださいました。ところが葬られた後、3日目の朝、イエス様は死者の中から蘇って復活されて弟子たちに現れたのです。弟子たちは大変驚き喜びました。その喜びが今もイースター礼拝となって残っています。今日の聖書箇所は、復活のイエス様が12弟子たちに現れた時の出来事が記されています。

さて、イエス様の弟子の中でディディモと呼ばれるトマスが、復活のイエス様が最初に弟子たちにお姿を現された時にその場にいませんでした。他の弟子たちが喜んでトマスに「イエス様は復活され現れた！」と言われても、トマスは絶対に信じませんでした。そして、トマスは疑いました。死んだ人が生き返るはずがない！トマスは、自分の目で見て、指や手で復活のイエス様の十字架で傷ついたお体を触って確かめ調べてみないと信じない、と、他の弟子たちに言いました。

ところが、8日の後に弟子たちが部屋の中で集まっていた時に復活のイエス様が現れました。部屋の扉には鍵がかかっていたのに、イエス様はその復活のお姿を現されたのです。恐らく、弟子たちの中で一番驚いたのはあのトマスであったでしょう。トマスもそこにいました。そして、トマスは本当にビックリしました。自分の目の前にあの死んだはずのイエス様が現れたのです。

しかも、もっとトマスが驚いたことがありました。それは、イエス様が、トマスがイエス様の復活を疑っていたことをよく知っておられたことでした。実は、イエス様は神の御子なので、不思議なお力を持っておられます。イエス様は、その場におられなくても、人が心の中で考えていることや、口に出した言葉は全部ご存知なのでした。例えば、私たちが、日々祈る内容も、天におられるイエス様はちゃんと聞いてくださって、知っていてくださっています。皆さんの祈りはイエス様に届いています。

イエス様はトマスに近づきました。そしてトマスに言いました。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。」これは、釘を十字架の上で手に打たれたので、復活のイエス様の手には釘で打った時の穴が残っていたのです。トマスはその傷を見ただけで実際に触れることすらできませんでした。さらにイエス様は言いました。「あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。」イエス様のわき腹

には、十字架の上でとどめをさされた時、ローマ兵が槍で刺した傷が残っていました。

そうです！復活のイエス様は、まさにあの時の十字架のイエス様でした！そのイエス様が復活されていたのです。疑うトマスは、「わたしの主、わたしの神よ！」と言って告白をしました。告白するとは、イエス様を神の御子、救い主として信じます、と皆の前で言い表すことです。これが今でも、教会の洗礼式の中に含まれています。

皆さんは、教会に行っていますか？ぜひ、教会の礼拝に出て洗礼式を見てください。トマス以来、約2千年間も、教会は洗礼式を行っています。トマスのように、疑うという罪が赦され、洗われ、新しく生かされ、天におられるイエス様に向かって歩み出す式が教会の洗礼式です。見ないで信じる者が神様の祝福を得ることができています。なぜなら、イエス様がトマスに告げられた御言葉があるからです。それは29節に次のように書いてあります。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる者は、幸いである。」

トマスの驚きと喜びは、教会の礼拝の賛美となって今も続いています。見ないで信じる幸いに、皆さんも招かれています！ 祈ります。

天の父、愛の神よ、イエス様によって見ないのに信じることの大切さをわたしたちの心にお知らせください。この世には、見ないと信じられないことばかりですが、目には見えなくても天をご支配されるイエス様に向かって、どうか、心を開き歩ませてください。この祈り、神の御子、主イエス・キリストの御名によって、御前にお献げ致します。アーメン。

2022年4月27日 聖学院小学校 イースター礼拝